



NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2022
11月号

●発行/一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE八丁堀9階
●制作/株式会社日本医療企画

お問い合わせ先/一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 http://nutrition-management.jp

2021年10月~2022年9月「栄養経営士」資格認定試験 34人が合格、累計合格者数は1,000人突破!

表1 2021年度下半期~2022年度上半期IBT試験上半期
および過去試験累計 結果概要

	IBT試験	第1回からの累計
申込者数	57人	1,420人
受験者数	46人	1,338人
合格者数	34人	1,006人
合格率	73.9%	75.2%

【結果概要(表1)】
受験申込者数57人のうち46人が受験し(受験率80・7%)、34人が合格。合格率は73・9%と、前回の92・0%からは大きく下がったものの、第1回試験からの累計平均75・2%とほぼ同レベルの結果となった。

また、累計受験申込者数は1,420人、累計受験者数は1,338人、そして累計合格者数は1,006人となり、4桁の大台へと突入した。

【年代別構成(表2)】
受験者数・合格者数ともに「30歳以上39歳以下」がもっとも多く、そのあとは「29歳以下」、「40歳以上49歳以下」と続いた。

年代別に見た合格率は「30歳以上39歳以下」(18人中14人合格)、「40歳以上49歳以下」(9人中7人合格)が同じ77・8%と並び、次に「50歳以上59歳以下」(4人中3人合格)が75・0%と続いた。

中堅・ベテラン勢の奮闘が光るが、今後は若手の管理栄養士たちの奮起にも期待したい。

表2 受験者・合格者の年代別構成

	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	14人(30.4%)	10人(29.4%)	71.4%
30歳以上39歳以下	18人(39.1%)	14人(41.1%)	77.8%
40歳以上49歳以下	9人(19.6%)	7人(20.6%)	77.8%
50歳以上59歳以下	4人(8.7%)	3人(8.8%)	75.0%
60歳以上	1人(2.2%)	0人(0.0%)	0.0%

表3 受験者・合格者の所属別構成

	受験者数	合格者数	合格率
病医院	36人(78.3%)	28人(82.4%)	77.8%
介護福祉施設等	6人(13.0%)	4人(11.8%)	66.7%
栄養関係企業	3人(6.5%)	1人(2.9%)	33.3%
行政関連施設	0人(0.0%)	0人(0.0%)	0.0%
その他	1人(2.2%)	1人(2.9%)	100.0%

※表2、表3のカッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

【所属別構成(表3)】
受験者数・合格者数ともに「病医院」が最多で、次点が「介護福祉施設等」となっている。それ以外の所属先については、受験者数4人、合格者数2人であった。

「病医院」は受験者数全体に対する割合が78・3%だが、合格者数全体では82・4%と4ポイントアップとなった。対して「介護福祉施設等」では、受験者数全体への割合に比べ、残念ながら合格者数全体の割合が少し

下がる結果となった。

現在「栄養経営士」の試験はIBT方式を採用し、申込から合格まで、すべてインターネットを使っての手続きとなる。ネット経由でのやりとりで苦手意識を持つ受験者がいるかもしれないが、こうした場面でIT機器を使いこなせることも、これからの栄養経営士には必要な能力だと協会では考えている。もし、IT機器を苦手とする人がいたら、これを機にぜひ苦手意識を克服して欲しい。

この先、管理栄養士が病棟常駐となり、多職種と協働し、より深く患者治療に関わっていくことになるに違いない。そのときを見据え、チーム医療の一員として大いに活躍する栄養経営士が一人でも多く生まれることを願っている。

チーム医療に栄養が必須となる時代 栄養経営士のマネジメント力を活かせ

一般社団法人日本栄養経営実践協会(代表理事・宮澤靖)による「栄養経営士」資格認定試験は2021年3月からIBT(Internet Based Test)方式に変わり、前回の報告(2021年10月号掲載)から1年が経過した。そこで、この間の受験者数と合格者数、およびこれまでの累計受験者数、合格者数等の結果詳細について報告する。

2022年度「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式で開催中です!

「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:通年
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習はWEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

🔍 栄養経営士 🔍 検索



一般社団法人 日本栄養経営実践協会
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒101-0042 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-Gate八丁堀9F
TEL:03-3553-2903 FAX:03-3553-2904

血液検査の値で筋肉量を推定

吉田貞夫理事が特許を取得!

当協会の吉田貞夫理事が血液検査の値(クレアチニンとシスタチンC)を使って骨格筋量を計算し、サルコペニアや低栄養を判定できる方法を開発、2022年6月に特許を取得した。そこで、吉田理事に仕組みを開発した背景や内容、今後の展開などをうかがった。

「実際の良い数値で出してしまうと、慢性腎臓病の可能性の人が見落とされ、タンパク質の過剰摂取や、実際の腎機能以上に薬剤を投与し、副作用(有害反応)につながる可能性がある。そこで、筋肉量(骨格筋量)の影響を受けず、正確に腎機能を評価する方法として、シスタチンCが用いられているようになってきている。シスタチンCは、細胞内でつくられる内因性のプロテアーゼ阻害物質で、骨格筋量の影響を受けにくい。実際に受け持った患者さんのデータを確認してみると、クレアチニンから算出したeGFR(推算糸球体濾過量)とシスタチンCから算出したeGFRcysの乖離が認められた」

吉田理事はeGFRとeGFRcysの乖離は骨格筋量の減少が原因なので、「この2つの値の違いを利用して、骨格筋量の推定を行うことができるのでは」と考えた。近年、サルコペニアの高齢者が増加、サルコペニアの有無の判定が重要視されているほか、低栄養の国際的な診断基準GLIMでも、骨格筋量の評価が必要となっている。しかし、骨格筋量の測定は普及しておらず、サルコペニアの判定や低栄養の診断をする際にも、BIA(バイオインピーダンス)法やDXA(二重エネルギー線吸収)法などの機器がないために、正確な測定が行えない施設も少なくない。機器のない施設では、ふくらはぎの周囲長を測定することが推奨されているが、こうした状況は十年以上前からほとんど改善されていないのが現状である。

現場での問題を解決するために3年かけ開発腎機能を見るとき、一般的には血液検査のクレアチニンの値で判断することが多い。しかし、クレアチニンは筋肉で作られるため、サルコペニアが進行した症例では産生されるクレアチニンが減少し、実際の状態よりも腎機能が「良く出てしまう(過大評価してしまう)」ことが多い。受け持ちの患者さんの評価を行うときにも困っていたと吉田理事は語る。

「実際よりも良い数値で出してしまうと、慢性腎臓病の可能性の人が見落とされ、タンパク質の過剰摂取や、実際の腎機能以上に薬剤を投与し、副作用(有害反応)につながる可能性がある。そこで、筋肉量(骨格筋量)の影響を受けず、正確に腎機能を評価する方法として、シスタチンCが用いられているようになってきている。シスタチンCは、細胞内でつくられる内因性のプロテアーゼ阻害物質で、骨格筋量の影響を受けにくい。実際に受け持った患者さんのデータを確認してみると、クレアチニンから算出したeGFR(推算糸球体濾過量)とシスタチンCから算出したeGFRcysの乖離が認められた」

コペニアの有無の判定が重要視されているほか、低栄養の国際的な診断基準GLIMでも、骨格筋量の評価が必要となっている。しかし、骨格筋量の測定は普及しておらず、サルコペニアの判定や低栄養の診断をする際にも、BIA(バイオインピーダンス)法やDXA(二重エネルギー線吸収)法などの機器がないために、正確な測定が行えない施設も少なくない。機器のない施設では、ふくらはぎの周囲長を測定することが推奨されているが、こうした状況は十年以上前からほとんど改善されていないのが現状である。

「骨格筋量を測る際、BIA法では浮腫や腹水があると正しい数値にならず、ペースメーカーを留置している人には使用できないという難点がある。今回開発した方法では、そうした問題を克服でき、同時に100人以上の多人数の測定も可能となるため、医療以外の検診、健診などでも応用できる」と吉田理事。

1例からでも大丈夫!ぜひ共同研究者としてご参加ください



吉田貞夫

一般社団法人日本栄養経営実践協会 理事
ちゅうざん病院 副院長 / 金城大学客員教授

共同研究って、何かとっても敷居が高い...、そう感じた方もいらっしゃるかもしれません。そんな堅苦しいものではないんです! 保険診療などに承認されていない新技術、しかも、特許技術なので、『共同研究』という形でしか使っていただくことができない...、そのためなんです。

eSMI 2021 に最低限必要なものは、血清クレアチニンの値とシスタチンCの値、年齢、性別、身長、体重...そのくらいです。そのほか、任意で、ふくらはぎ周囲長、BIA法、その他の方法で測定したSMIなどを記載していただいています。1例報告でもOK。よくわからないことは、精一杯フォローいたします。ぜひ試してみてくださいと思います。

血液検査と基礎データで手軽に判定可能
今回、吉田理事が開発した方法では、クレアチニンとシスタチンCの値がわかれば、あとは身長、体重、年

齢、性別といった基礎データだけで骨格筋量が推定できる。

計算に必要な項目	任意項目 (できるだけ)
年齢、性別、身長、体重、クレアチニン (cre)、シスタチン C (CysC)	SMI(BIA)、SMI(DXA)、ふくらはぎ周囲長、CT・MRI・その他、浮腫、胸水・腹水、体内金属
サルコペニア判定に必要な項目	低栄養判定 (GLIM)
握力、歩行速度	現症、病因に関する質問項目

ふくらはぎ周囲長などのデータも可能ならあわせて収集を

協力を広く募集中
発表や研究にも活用を
現在、吉田理事は専用のサイトを立ち上げ

「この方法の精度を上げて有用性を確立するため、今は一件でも多くのデータを集めている」(吉田理事)そうだ。

「この方法の精度を上げて有用性を確立するため、今は一件でも多くのデータを集めている」(吉田理事)そうだ。

「この方法の精度を上げて有用性を確立するため、今は一件でも多くのデータを集めている」(吉田理事)そうだ。

「この方法の精度を上げて有用性を確立するため、今は一件でも多くのデータを集めている」(吉田理事)そうだ。

eSMI 2021
eSMI 2021は、血液検査データから骨格筋量 (SMI) を推定する方法です。このサイトでは、共同研究を行ってくださる研究者を募集しています。

2022年4月
ビジネスユース
解禁予定!

eSMI 2021
協同研究特設サイト

血液データからサルコペニア、低栄養を測るイノベーション
(特設サイト7113121号)

興味を持った方はぜひ右上のQRコードからサイトについて内容を確認して研究に参加して欲しい (https://esmiyoshida.wixsite.com/index)

1. 研究の名称
血液検査データから骨格筋量を推定する研究 (仮題)

2. 研究の趣旨
研究機関
研究内容
研究対象者
研究実施者 (指導者)
研究分析者

3. 研究の目的と意義
3.1 目的
研究の目的は、血液検査データから骨格筋量を推定し、低栄養やサルコペニアを判定することです。本研究は、低栄養やサルコペニアの診断に有用な指標として、血液検査データから骨格筋量を推定することを目指しています。本研究は、低栄養やサルコペニアの診断に有用な指標として、血液検査データから骨格筋量を推定することを目指しています。

3.2 意義
本研究は、低栄養やサルコペニアの診断に有用な指標として、血液検査データから骨格筋量を推定することを目指しています。本研究は、低栄養やサルコペニアの診断に有用な指標として、血液検査データから骨格筋量を推定することを目指しています。

4. 研究の方法
本研究は、血液検査データから骨格筋量を推定することを目指しています。本研究は、血液検査データから骨格筋量を推定することを目指しています。

5. 研究の進捗
本研究は、血液検査データから骨格筋量を推定することを目指しています。本研究は、血液検査データから骨格筋量を推定することを目指しています。

資料のなかには患者への質問内容や病院の倫理委員会に提出する書類のひな形なども用意されています。そのため、今までこうした研究に協力しなかった人でもスムーズにデータ収集・研究・協力ができ

「この方法の精度を上げて有用性を確立するため、今は一件でも多くのデータを集めている」(吉田理事)そうだ。

「この方法の精度を上げて有用性を確立するため、今は一件でも多くのデータを集めている」(吉田理事)そうだ。

患者・利用者の正確な骨格筋量がわかれば、サルコペニアや低栄養の判定のほか、リハビリや食事内容の見直しなど、いろいろなところで活用できるはずだ。ぜひ、栄養経営士には吉田理事が開発した方法を業務に活かして、また吉田理事にデータをフィードバックして活動に協力して欲しい。

患者さん (ご参加者) への研究説明書

「血液検査データから骨格筋量を推定する研究」(仮題)

これは臨床研究への参加についての説明書です。本研究についてわかりやすく説明しますので、内容を十分ご理解されたうえで、参加するかどうかを、患者さんに自身の意思で決めてください。ご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください。

研究代表者:
研究責任者:
連絡先: TEL

「この方法の精度を上げて有用性を確立するため、今は一件でも多くのデータを集めている」(吉田理事)そうだ。

「この方法の精度を上げて有用性を確立するため、今は一件でも多くのデータを集めている」(吉田理事)そうだ。

「この方法の精度を上げて有用性を確立するため、今は一件でも多くのデータを集めている」(吉田理事)そうだ。

★新会員サービス「オンラインサロン」大好評開催中!

新卒採用では面接での質問を工夫し、外部ツールの利用も検討してみよう!

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。第19回は10月31日(月)18:30より行われました。協会からは宮澤靖代表理事、吉田貞夫理事、真壁昇理事、山下茂子理事、西岡心大理事、田中智美理事が出席し、参加者の質問や悩みに対しみんなで意見を出し合いました。

この日最初の質問は「新卒者の採用について、どのようなところを重視しますか?」でした。

まず、山下理事が「一般常識があって、コミュニケーション能力が高い人がいい。部署でうまくやっていけない人は、病棟で患者さんや医師ともうまくいかない」と伝えました。

田中理事は「当院は急性期なので、判断力が早く頭の回転が速い、切り替えていける人が欲しい」と語り、採用時の判断材料として「Compass採用判定レポート」*を使用していると紹介しました。これは148問の質問に回答すると対人コミュニケーションやストレス耐性などさまざまな項目の評価がレポートとして出てくるもので、使用感としては「どんな傾向があるかなど、結構当たっていると思う」(田中理事)とのこと。学科や面接で判断が難しい場合、こうした外部ツールを導入するのも、ひとつの手かもしれません。

西岡理事は「一番重視するのは病院の理念に

共感できるかどうか。また、チーム医療が前提なので、コミュニケーションがとれるかどうかもある」と話し、加えて「面接では、今まで努力をした経験があるかを尋ねている。泥臭い仕事や悔しい思いをすることもあから、それを乗り越えてついでいけるかどうかを過去の経験から探っている」と具体的な質問とその意図を説明しました。

真壁理事は「一番目力がある人、物事をきちんと説明できる人、フィーリングが合う人など、当院に来て困らないと思う人を選ぶようにしている。あとは目標がある人」と語りました。

吉田理事は「当院の場合は、選ぶというよりお断りするかどうかの判断になる。お断りする人は、伸びしろがない人、視野が狭すぎる人、経験を増やす・広げる余地がない人。あとは腹が据わっていない人もダメ。面接では『患者が目の前で窒息しただけでどうする?』とちょっと意地悪な質問をして答えを聞く」と伝えました。

最後に宮澤代表理事が「当院は学科試験と面接があり、個人的なウエイトは学科2割、面接8割。明るく前向きで元気で、東京医大じゃなきゃやりたいことができないっていう人が採用される。また、面接では必ず『あなたがこの病院に入ったら栄養科はどう変わりますか?』と聞いて、どんな答えが返ってくるかに注目している」と語り、この質問は終了しました。

「オンラインサロン」は今後も月に1回のペース

で実施する予定です。全国の栄養経営士や理事の先生方と直接交流できる、会員ならではの貴重な機会ですので、ぜひ奮ってご参加ください。

*イング社が提供している適性検査。比較的安価で導入できる。
<https://ing-c.co.jp/product/index.html>

▼10月31日(月)の話題

- ・新卒者の採用について、どのようなところを重視してる?
- ・研修医の先生が来るけれど、栄養科としてどのような話をすればいい?
- ・AI、ICTを駆使して業務の効率化を行っていることがあれば教えて
- ・特別食加算って現状に即してると思う?

■栄養経営士 オンラインサロン

◇開催日時:11月30日(火) 18:30~

12月19日(月) 18:30~

◇参加対象:栄養経営士・栄養経営サポーター

◇参加費:無料

◇開催形式:オンライン配信(Zoom)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能を使える
パソコン・タブレット等をご用意ください
※個別の症例の相談にはお答えできません



学会レポート

新しい時代の組織づくり、働き方をみんなで考えよう

第6回日本ヘルスケアダイバーシティ学会

一般社団法人日本栄養実践協会が後援する、第6回日本ヘルスケアダイバーシティ学会(大会長=安藤高夫・医療法人社団永生会理事長)が11月3日、東京都港区の国際医療福祉大学東京・赤坂キャンパスで開催された。

Well-beingな組織づくりとはなにかを考える

今年の学会テーマは「多様性がつなぐ、人づくり・組織づくり・地域づくり」。医療法人社団永生会の安藤高夫理事長が大会長を務めた。

特別講演では、独立行政法人国立女性教育会館理事長で、NPO法人日本NPOセンター代表理事、立教大学名誉教授の萩原なつ子氏が、「東京都豊島区『としまF1会議』から考えるWell-Beingなコミュニティ」をテーマに講演。Well-Beingなコミュニティづくりの例として、



としまF1会議について語る萩原なつ子氏

「としまF1会議」について話した。

豊島区は2014年に東京都23区で唯一「消滅可能性都市」に指定され、重点目標に「女性に優しい、女性が住みたくなる、来たくなるまちにする」を掲げた。対応策を審議する「としまF1会議」は萩原氏が座長を務め、豊島区の女性を中心とした32人で構成。同会議でまとめた提案は翌年、11事業8,800万円が予算化され、若い女性市民の意見を直接取り入れた区政史上初めての例となった。

萩原氏は「行政は縦割り組織だが、ひとつの部署では解決しないことが多く、これは医療機関も同様。関連する人たちをみんなラウンドテーブルに乗せて、みんなで対話しながら進めたことも奏功した」と振り返った。

働き方改革をテーマにシンポジウムを開催

続くシンポジウム「医師と医療従事者の働き方改革」では安藤大会長が座長を務め、学校法人北里研究所北里大学常任理事の渋谷明隆氏、国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院院長の長堀薫氏、エム・シー・ヘルスケアホールディングス株式会社上席執行役員CSO/CMOの小西竜太氏、医療法人大誠会理事長の田中志子氏の4名がシンポジストを務めた。



シンポジウムでは参加者から経験に基づいた話やさまざまな資料について語られた

田中氏は、出産や子育てをしながら、父親が経営していた医療法人大誠会を引き継ぎ発展させてきた歴史を振り返った。少子高齢化、過疎化の中でも職員が子どもを産み育てやすい環境づくりやシニア雇用に取り組み、総職員数、新入職員数、職員の子どもの出生数、シニア雇用者数が増加していることを示し、「次の世代のために、誰もが幸せな人生を生きられる未来をつくるのが、働き方改革の目的」と述べた。

座長の安藤高夫大会長は閉会の挨拶で「これから医療・介護業界でもダイバーシティが重要になってくる。当学会が多様性の発信源になっていくよう頑張りましょう」と呼びかけた。

次年度の開催は11月頃を予定している。

栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

学会情報

第33回日本糖尿病性腎症研究会

糖尿病性腎症の発症・進展防止戦略のため、糖尿病と腎臓病の専門家が協力する場として発足したのが日本糖尿病性腎症研究会で、その発表が石川県金沢市の会場とライブ配信のハイブリッドで行われます。

- 日程：12月3日(土)～4日(日) 13:00～15:30
- 座長：合田朋仁氏(順天堂大学 医学部 腎臓内科学講座)
江里口雅裕氏(奈良県立医科大学 腎臓内科学)ほか
- 参加費：医療スタッフ(看護師、栄養士、薬剤師等):2,000円
医師、一般:7,000円
- 会場：金沢市文化ホール(石川県金沢市高岡町15番1号)
- 形式：現地開催+ライブ配信のハイブリッド開催
※アーカイブ配信はありません
- 主催/お問い合わせ：株式会社メディカル東友
コンベンション事業部
TEL:046-220-1705



協会事務局より

2022年12月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年12月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。支払期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ対応しております。対象の方はご確認および手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 年度会費：有効期限が2021年12月20日～2022年12月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2019年12月20日～2021年12月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903

セミナー情報

スポーツ栄養講座 ～いろは編&ベーシック編～

スポーツ現場において管理栄養士はどのようなサポートを行っているのか、いろは編ではスポーツ栄養士の仕事についてやスポーツ栄養士に必要な基礎的知識について学び、『ベーシック編』ではスポーツ栄養士の仕事の実践学を紹介します。

- 日程：12月4日(日) 10:00～16:00
- 座長：河谷彰子氏(慶応義塾大学非常勤講師・上智大学非常勤講師、管理栄養士、体育学修士)
- 参加費：10,000円
- 形式：Zoomを使ったライブ配信
※アーカイブ配信はありません
- 主催/お問い合わせ：東洋システムサイエンス
TEL:03-6912-7954



セミナー情報

消化器専門医の視点からの腸内細菌 研究の最前線 ～基礎から臨床まで

心身の健康や疾患に大きく関わり健康長寿のカギを握ると言われる腸内環境について、消化器専門医の視点から“腸内細菌叢に関する最新研究”について紹介します。

- 日程：2022年12月9日(金) 19:00～20:00
- 座長：内藤裕二氏(京都府立医科大学大学院 医学研究科教授)
- 参加費：無料
- 形式：ライブ配信(オンライン)
- 主催/お問い合わせ：
太陽化学株式会社 メディケア事業
Mail:support@taiyo-medi.com



★情報掲示板に掲載するイベント情報を募集中!
会員・法人賛助会員の皆さまからの情報をお待ちしています!

「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講が可能!
☆3枚組、特典映像付き☆

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

【こんな方におすすめ】

- ・会場で受講したが、内容を復習したい
- ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
- ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1: 90分、DISC 2: 73分)

1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
5. 適材適所の組織マネジメント
6. 病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3: 約30分)

観てわかる! 近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

- 講師：宮澤 靖 代表理事ほか
- 受講料：8,500円(税込) 会員価格：3,850円(税込)